

## 2 主な整備箇所(地域版)

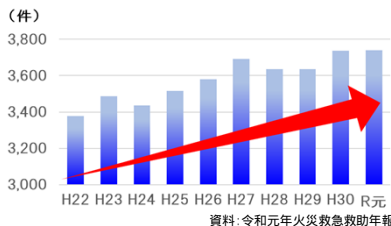
### 2 柳井地域のみちづくりに関する現状と課題

求められる主な取組

- 半島や離島、中山間地域で構成される1市4町間の道路整備による**交流・連携の強化**
- 広域交通拠点へのアクセス強化による**観光客の利便性の向上**
- 歩道の整備等による**交通安全対策の推進**
- バイパス整備等による**緊急車両の迅速かつ円滑な通行の確保**
- 緊急輸送道路等の**橋梁の耐震補強**
- 離島架橋をはじめとした**道路施設の計画的・効率的な修繕・更新等**

#### 救急出場の増加

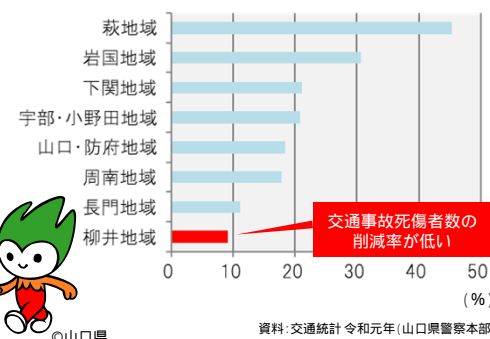
柳井地区広域消防組合における救急出件件数は、令和元年に3,740件で過去最多となるなど、近年増加傾向にあり、信頼性の高い移動ルートの確保や移動時間の短縮などが求められます



#### 県内共通 交通事故死傷者数の削減率

県内の交通事故死傷者数は減少傾向にありますが、柳井地区の減少率は他の地区に比べて低い状況です。交通事故削減に向けた取組が必要です。

【交通事故死傷者数の削減率(対13.0年比)】



道の駅

市役所等

観光地

産業団地

主要渋滞箇所

第二次医療施設

広域連携軸

都市間連携軸

拠点間連携軸

都市拠点

地域拠点

やまぐちフラウランド

白壁の街並み

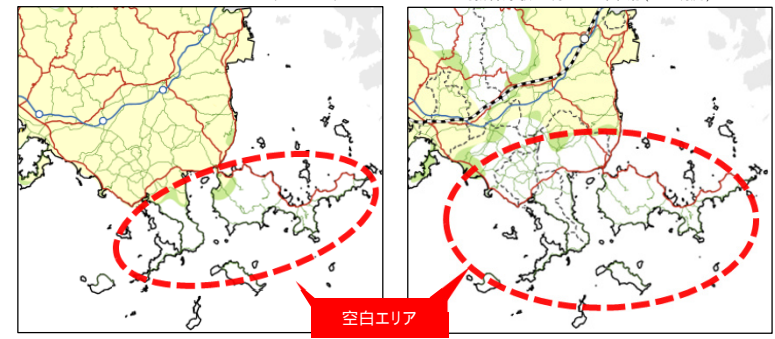


#### 広域交通拠点へのアクセス

柳井地域は、美しい自然と歴史に恵まれた観光資源や温暖な気候による農林水産資源が豊富であり、これらを活かした地域の振興を図るため、インターチェンジや新幹線駅などの広域交通拠点へのアクセス性向上が求められています。

【インターチェンジ30分カバー圏域】(H27現況)

【新幹線駅30分カバー圏域】(H27現況)



空白エリア

#### 県内共通 大規模地震時の耐震性

大規模地震時の緊急輸送路を確保するためには、緊急輸送道路上の橋梁や離島架橋等の耐震補強を推進する必要があります。



#### 県内共通 道路施設の老朽化

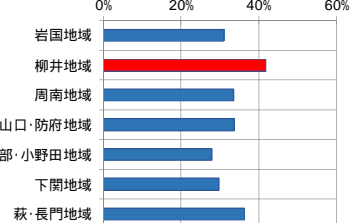
道路施設の老朽化は、利用者の安全性の確保に支障となるだけでなく、ネットワークの寸断等により社会経済活動の停滞をもたらす恐れがあります。このため、唯一の陸上交通手段である大島大橋や沖家室大橋、上関大橋などの適切な対策が必要です。



#### 防災・災害対策

平成27年度に実施した県政世論調査によると、「**防災・災害対策の促進**」が重要とされており、防災減災対策の推進や、安心・安全な生活道路の整備が求められています。

【防災・災害対策の促進が重要と回答した割合】



今後の道路整備を進めていくにあたって、どのようなことが重要だと思いますか？

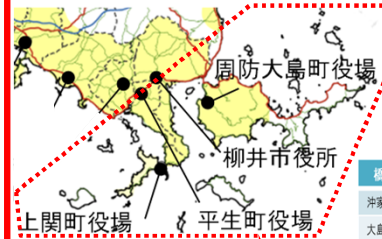
#### 半島・島しょ部特有の地形条件

柳井地域は、柳井市、田布施町、平生町、上関町及び周防大島町の1市4町で構成されており、その地形は瀬戸内海に面した市街地とその背後の丘陵地、室津半島、屋代島をはじめとする島しょ部から形成されています。中心都市である柳井市と他の町が相互に役割分担し、それぞれが持つ諸機能を相互に補完・連携しあいながら地域全体が発展するためには、都市間や拠点間の交流・連携の強化や、生活の利便性・安全性の向上が必要です。

#### 離島架橋(柳井地域)

県内9橋の離島架橋のうち、3橋が柳井地域に存在します。離島架橋は、住民の日常生活、農水産物の集出荷、観光・交流活動、災害時における避難経路の確保などの面において重要な社会資本であり、施設の適切な維持管理を図ることが必要です。

橋梁名	路線名	橋長(m)	橋種	架設年
沖家室大橋	(一)白木漁港佐連橋	380.0	PC箱桁橋	1983
大島大橋	(国)437号	1020.0	鋼ラース橋	1976
上関大橋	(主)光上関橋	220.0	PC箱桁橋	1969



【19市町30分圏カバー圏域】(H27現況)

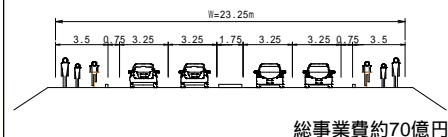
半島・島しょ部



## 2 柳井地域の主な整備中箇所

支える	守る	備える	つなぐ

内 容	バイパス
延 長	L = 2.2km
幅 員	W = 23.25m
着 手 年 度	令和2年度

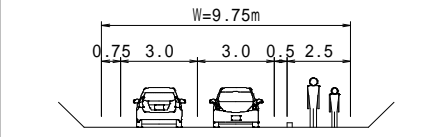


- ◆ 現道の渋滞緩和や交通事故の減少を図ります。
- ◆ 地域の産業支援のため、物流の円滑化を図ります。
- ◆ 災害時における代替路が確保し、信頼性の高いネットワークを構築します。



支える	守る	備える	つなぐ

内 容	バイパス	
延 長	L = 0.3km	
幅 員	W = 9.75m	
着手年度	平成26年度	

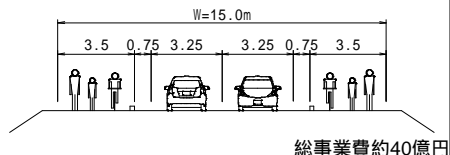


- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 歩行者の通行の安全を確保します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



支える	守る	備える	つなぐ

内 容	現道拡幅	
延 長	L = 0.9 km	
幅 員	W = 15.0 m	
着手年度	平成8年度	

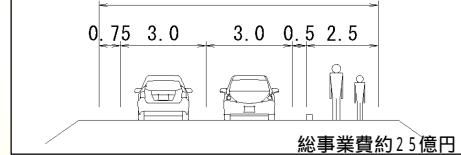


- ◆ 道路幅員が狭く大型車のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等に機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



支える	守る	備える	つなぐ

内 容	バイパス
延 長	L = 1.98 km
幅 員	W = 9.75 m
着 手 年 度	平成29年度



- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 2 柳井地域の主な整備中箇所

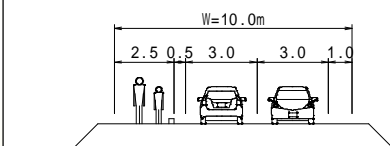
#### 2-5 23 県道光上関線(瀬戸)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	L = 1.18km
幅 員	W = 10.0m
着 手 年 度	平成24年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



#### 2-7 60 県道橋東和線(地家室)

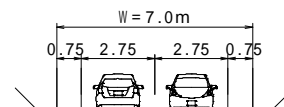
支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	L = 0.7km
幅 員	W = 7.0m
着 手 年 度	平成27年度

R3  
完成

【標準断面図】



総事業費約1.2億円



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 国道437号へのアクセス性が向上します。
- ◆ 地域住民の利便性向上及び産業の振興を図ります。



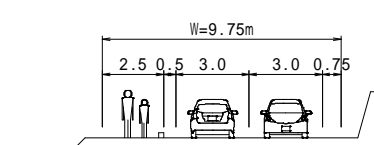
#### 2-6 23 県道光上関線(室津)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	L = 0.6km
幅 員	W = 9.75m
着 手 年 度	平成27年度

【標準断面図】



総事業費約1.1億円



##### 目的(効果)

- ◆ 急なカーブで見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



#### 2-8 72 県道柳井上関線(伊保庄)

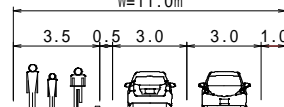
支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

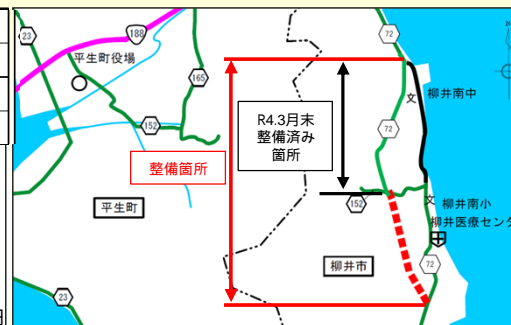
内 容	バイパス
延 長	L = 4.5km
幅 員	W = 11.0m
着 手 年 度	平成13年度

R3  
部分完成

【標準断面図】



総事業費約6.2億円



##### 目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 柳井市街地と室津半島地域との交流促進や連携強化を図ります。
- ◆ 国立病院機構柳井医療センターへのアクセス性を向上します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 2 柳井地域の主な整備中箇所

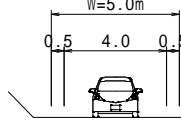
#### 2-9 155 県道東浦西浦線(黒鼻～赤崎)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	現道拡幅
延 長	L = 1.0 km
幅 員	W = 5.0 m
着手年度	平成23年度

【標準断面図】



総事業費約11億円



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 島の東西の連携を強化します。



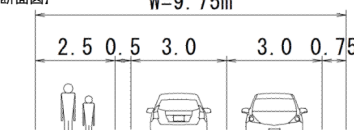
#### 2-11 22 県道光柳井線(麻郷奥松本)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	歩道整備
延 長	L = 0.6 km
幅 員	W = 9.75 m
着手年度	令和元年度

【標準断面図】



総事業費約3億円



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道の拡幅及び線形改良により安全で円滑な交通を確保します。



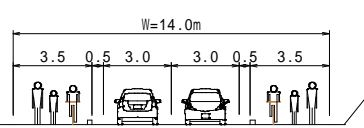
#### 2-10 4 県道大島環状線(小松)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	自歩道整備
延 長	L = 1.3 km
幅 員	W = 14.0 m
着手年度	平成26年度

【標準断面図】



総事業費約10億円



##### 目的(効果)

- ◆ 自転車歩行者道を整備することにより、歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。



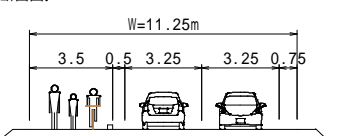
#### 2-12 22 県道光柳井線(波野～余田)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	自歩道整備
延 長	L = 0.45 km
幅 員	W = 11.25 m
着手年度	平成25年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 自転車歩行者道を整備することにより、歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 2 柳井地域の主な整備中箇所

#### 2-13 163 県道別府田布施停車場線(下田布施)

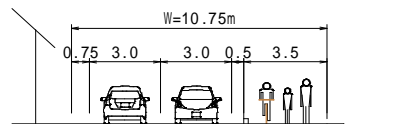
支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	自歩道整備
延 長	L = 0.7km
幅 員	W = 10.75m
着 手 年 度	平成26年度

**R5  
完成**

[標準断面図]



総事業費約4億円



整備前



整備後



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。

#### 2-15 都計道八和田定井手線(波野～下田布施)

支える 守る 備える つなぐ

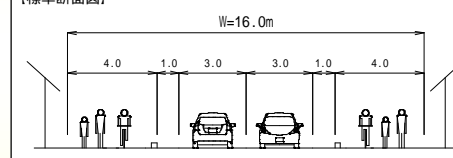
#### 22 県道光柳井線

##### 概要

内 容	自歩道整備
延 長	L = 0.5km
幅 員	W = 16.0m
着 手 年 度	平成25年度

**R3  
完成**

[標準断面図]



整備前



整備後



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。

#### 2-14 164 県道平生港田布施線(麻郷)

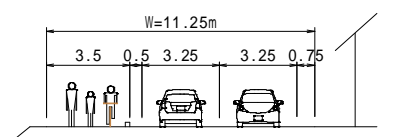
支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	自歩道整備
延 長	L = 1.0km
幅 員	W = 11.25m
着 手 年 度	平成25年度

**R5  
完成**

[標準断面図]



総事業費約9億円



整備前



整備後



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 線形を改良し、安全で円滑な交通を確保します。

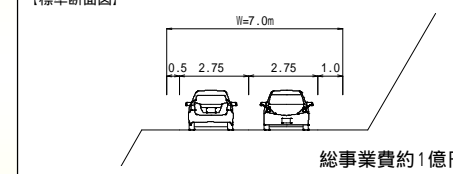
#### 2-16 4 県道大島環状線(小松開作～西安下庄)

支える 守る 備える つなぐ

##### 概要

内 容	のり面対策
延 長	L = 0.4km
幅 員	W = 7.0m
着 手 年 度	平成25年度

[標準断面図]



総事業費約1億円



##### 目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 2 柳井地域の主な整備中箇所

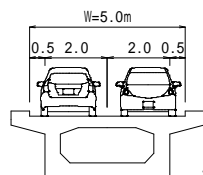
#### 2-17 362 県道白木漁港佐連線(沖家室大橋)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	耐震化
延 長	L = 0.38km
幅 員	W = 5.0m
着 手 年 度	平成29年度

【標準断面図】



総事業費約7億円



##### 目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



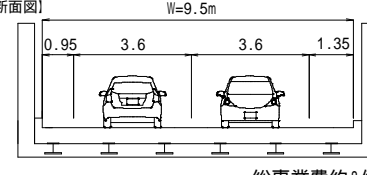
#### 2-19 7 県道柳井周東線(瑞穂橋)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	長寿命化
延 長	L = 0.04km
幅 員	W = 9.5m
着 手 年 度	平成29年度

【標準断面図】



総事業費約8億円



##### 目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



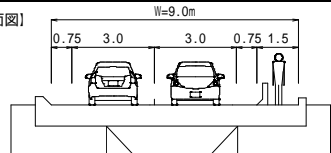
#### 2-18 437 国道437号(大島大橋)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	長寿命化
延 長	L = 1.0km
幅 員	W = 9.0m
着 手 年 度	平成11年度

【標準断面図】



総事業費約9.6億円



##### 目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



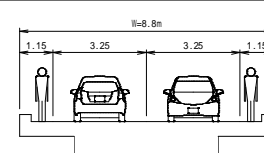
#### 2-20 23 県道光上関線(上関大橋)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	長寿命化
延 長	L = 0.22km
幅 員	W = 8.8m
着 手 年 度	令和2年度

【標準断面図】



総事業費約5億円



##### 目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 2 柳井地域の主な整備中箇所

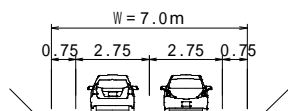
#### 2-21 60 県道橘東和線(地家室2)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	バイパス
延 長	L = 0.5km
幅 員	W = 7.0m
着 手 年 度	平成30年度

【標準断面図】



総事業費約10億円



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 地域住民の利便性向上及び産業の振興を図ります。



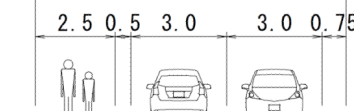
#### 2-23 22 県道光柳井線(麻郷奥杉田)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	歩道整備
延 長	L = 0.3km
幅 員	W = 9.75m
着 手 年 度	令和4年度

【標準断面図】

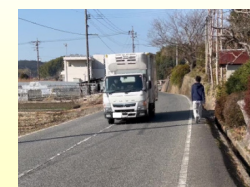


総事業費約3億円



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道の拡幅及び線形改良により安全で円滑な交通を確保します。



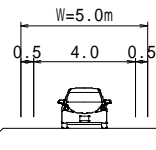
#### 2-22 109 県道白木山線(西方)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	現道拡幅
延 長	L = 0.4km
幅 員	W = 5.0m
着 手 年 度	令和4年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消し、安全で円滑な交通を確保します。
- ◆ 地域住民の利便性向上及び産業の振興を図ります。
- ◆ 白木山山頂公園へのアクセス性が向上します。



#### 2-24 都計道八和田定井手線(下田布施)

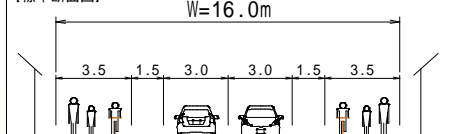
##### 23 県道光上関線

支える	守る	備える	つなぐ

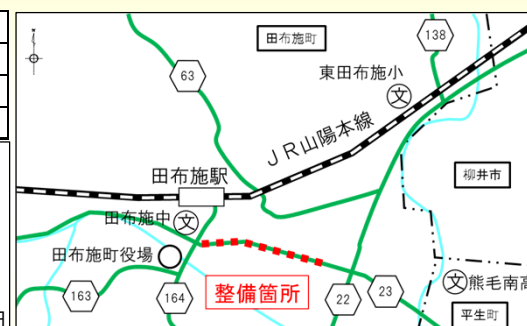
##### 概要

内 容	自歩道整備
延 長	L = 0.8km
幅 員	W = 16.0m
着 手 年 度	令和4年度

【標準断面図】



総事業費約10億円



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保することにより、安全で暮らしやすいまちづくりを推進します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 2 柳井地域の主な整備中箇所

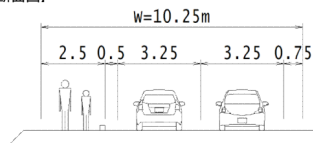
#### 2-25 437 国道437号(宗光)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	歩道整備
延 長	L = 1.2km
幅 員	W = 10.25m
着 手 年 度	令和6年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。



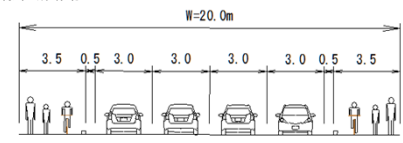
#### 2-27 70 県道柳井玖珂線(北町)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	交差点改良
延 長	L = 0.4km
幅 員	W = 20.0m
着 手 年 度	令和7年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 交差点改良により、円滑な交通を確保します。



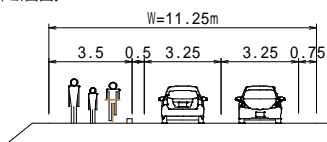
#### 2-26 22 県道光柳井線(波野)

支える	守る	備える	つなぐ

##### 概要

内 容	自歩道整備
延 長	L = 0.1km
幅 員	W = 11.25m
着 手 年 度	令和6年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 自転車歩行者道を整備することにより、歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。

